

特F4

76

漢書卷之四十四 地理志

會稽

會稽



江戸時代の浮世草子(下巻)に『遊女』が載っている。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

江戸時代の浮世草子(下巻)に『遊女』が載っている。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

『遊女』の物語は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

『遊女』の物語は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

浮世草子(下巻)の『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

『遊女』の物語は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

江戸時代の浮世草子(下巻)に『遊女』が載っている。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。



浮世草子(下巻)の『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

浮世草子(下巻)の『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

浮世草子(下巻)の『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。この『遊女』は、浮世草子の代表作である。

同進一北路全山の情  
 新清水舞臺の情



同進一北路全山の情  
 新清水舞臺の情



今日御殿の場 御殿の場 大蔵自らの場 御殿の場 御殿の場



中満久也才三番由良の娘 泉屋鋪鉄炮の娘



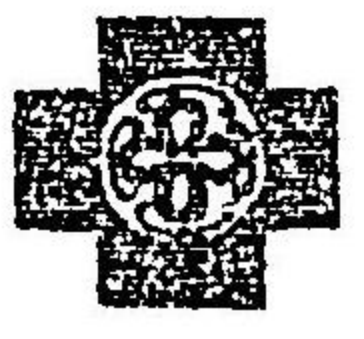
中二系田房集梅巻坂の場 送形の場 三番目廣室の場



同軍助の場 女半次郎の場 大切三國屋の場







常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫

常盤津島大夫

上等後舖 金二百二十枚

上等前舖 金二百二十枚

上等中舖 金二百二十枚

上等後舖 金二百二十枚

油一色 金の鏡

若くは外敷物積或は増資一切  
申受同額の内以上

明治十九年四月十日  
平前七時より用儀は此

常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫

常盤津島大夫

三味線

千福子蔵

大徳の用

常盤津島大夫

廣主 常盤津島大夫

常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫

常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫

常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫

常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫  
常盤津島大夫

明治十九年四月十日  
平前七時より用儀は此